

誰もが安心してかかれる

医療・介護の提供めざし

「LGBTQ」オンライン講座

8月19日、全職員を対象に「LGBTQ」についての講座をオンラインで開催しました。講師には神奈川民医連・川崎協同病院の医師であり、一般社団法人にじいろドクターズ理事の吉田絵理子医師をお迎えし、LGBTQと健康・医療・介護について知識を学び、ともに考える機会をいただきました。

当初、対面での講演予定が、新型コロナ感染症の影響を受け、急遽、オンラインでの講演となりました。参加いただきました多くの方に参加いただき、基礎知識、歴史から始まり、LGBTQの当事者である講師の実体験を交



吉田絵理子

えながら、聞きなれない用語も非常にいいねいに説明いただきなど、とてもわかりやすい講演でした。

LGBTQの方たちがさらされている健康格差など、医療・介護の現場で働く者として、改めて気づかされたこともたくさんあり、LGBTQに限らず、知識がないことで、自分では気づかないうちに相手を傷つけてしまつことは本当に恐ろしく、悲しいということも同時に学びました。講義の中には性的マイノリティ（性的少数者）に対して、「施設レベルでできること」「職場としてできること」も含まれており、参加された方からは「個人単位で

できること」を自分自身で考えてみる」との感想も多くあがっていて、講演を終え参加者一人ひとりが、身近な出来事として捉え始めていることを感じました。

同仁会では昨年度、職員教育の一環として、「ジェンダー平等の社会を推進」「性の多様性を認め合える組織作り」を取り入れたテーマで全職員が学習し、組織として学び始めたところです。今回の講演を通じて、今後も性的マイノリティだけでなく、すべてのマイノリティの方を含めた誰もが安心してかかれる医療・介護を提供できるよう、またマイノリティの方が安心して働き続けられる職場作りを目指し、全職員で学習に取り組んでいきます。（教育委員会事務局）

そもそも、LGBTって何？

- L = レズビアン (lesbian)
- G = ゲイ (gay)
- B = バイセクシュアル (bisexual)
- T = トランスジェンダー (transgender)

トランスジェンダー：
出生時に指定された性別（戸籍上の性別）と性自認（自身の性への認識）が一致しない人

「性を越境するもの」当事者中心に命名

個人レベルでできること

- ② アライであることを表明する
- レインボーグッズを身につける
- 職場で差別的な発言・対応を見かけたときに声かけをする
- ③ 職場での学習会などを提案する
- ④ (医師向け) セクシュアリティごとの健康リスクを学び、適切な予防医療・医療を提供する



みみはら 十人十色

シリーズ
みみはらの人 20



よしかわ まほ
吉川 真帆さん

鳳在宅介護支援センター
ケアマネジャー

堺生まれ、堺育ち。昔はハイキングや歴史に興味をもち、学芸員になることが夢でした。今は、コロナ禍で休んでいます。陶芸とヨガが趣味です。

シリーズ20回目は、ケアマネジャー歴18年の吉川真帆さんです。

「仕事をしていたり、仕事をしていること、何かあれば）」

あきらめずに
望む生活を
実現して
いきたい

「現在の職業に就こうと思つたきっかけや理由は？」

「長く続けられる職業をさがして、近所の人に勧められてヘルパーの資格を取りに行ったことがきっかけです。」

「仕事の内容、どんな時にやりがいを感じるか、頑張っていてよかったと思うことは？」

「多職種の方や利用者に関わる方たちと、意見をだし合つて一緒に悩み、考えているときは、「思ひは一つなんだな」と感じます。介護は生活の一部なので、模索しながらも、利用者の望む生活を実現できたときは、この仕事に就けたことに幸せを感じます。」

「ケアマネジャーとして、友の会や患者・利用者さんに伝えたい思いなどをどうぞ。」

「介護サービスは、両手で数えられる程度しかありません。それを駆使してその人の生活を支えています。介護保険が始まった当初は、「どうぞ新しい制度を使つてくださーい」といつ感じていたか、制度が変わるたびに事業所や利用者にとって非常にわかりにくいものとなつていきます。加齢や障害によって、思うようにできなくなった生活を支えるために、必要なことはシンプルなのに、いざ使つたならば、手続きが複雑すぎることに憤りを感じます。」

「何をしてくれるの？」という方もいると思います。直接、介護をする役目ではありません。介護保険の利用のお手伝いをする人と思つてくださーい。生活しづらくなつてきたと感じたら、何らかの支援が必要なのかもしれません。「今までできていたのに、できなくなつてきた」と感じたら、とりあえず相談してみてください。」

「座右の銘」は？」

「『キレない』『ブレない』『あきらめない』。利用者の想いに寄り添い、最後までとことん話し合い、あきらめずに、望む生活を実現していきたいと思つています。」